

## 平成 29 年度 第 1 回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：平成 29 年 5 月 19 日(金) 午後 1 時 30 分～2 時 30 分

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

出席者：千坂経悦、望月 武、中野正文、平野弘蔵委員

桑原文化振興部長、事務局 3 名

欠席者：内堀清治委員

進 行：佐藤市民学習支援課長

### 1 開 会

### 2 あいさつ

会長 新幹線開通 2 年目となり飯山地域が注目を浴びている。県が昨年から進めている「信州学」の取組みや、義務教育の中の「ふるさと教育」の取組みなど、さらに進展していくと思う。その中で資料提供を行う場として、ふるさと館が非常に重要になっていく。ふるさと館が、奥信濃の歴史や文化財の中心にならざるを得ないのではと感じている。今回の「飯山の街道展」、こういう企画から派生するものを積み上げていくことで、奥信濃の歴史、奥信濃学が生まれてくるのではないかと思う。

部長 本日はお手元の次第に沿い、28 年度の事業報告と 29 年度の事業計画をご審議いただくということで、忌憚ないご意見をいただき、運営に努めてまいりたいと存じます。よろしく願いいたします。

[辞令交付：4 月より小林芳裕委員から平野弘蔵委員へ委員交代]

### 3 協議（進行：会長）

#### (1) 平成 28 年度事業報告について

(事務局) 資料に基づき説明 (P 2～7)

(会長) 質問等ありますか。

(会長) 信大工学部建築学科の学生 60 名の学習は大勢だが、どういうことで来館したのか。

(事務局) 信大の梅干野先生たちのグループで、小菅の伝統的な建物の調査や学習のため小菅へ行く前の事前学習で来た。

(会長) この地域には古い伝統的な家屋がたくさん残っている。以前にも信大の土本先生達が調査を行っている。小菅も含め貴重な資料だと思う。

(委員) 寺町部会の学習会は公開してないのか。

(事務局) していない。寺町部会で企画運営・実施している。

- (委員) 「ふるさと教育」というときに、学年3～4年生の担任はこの地域の先生でなく他地域から来ている先生が多いので、例えば、寺町部会の学習会に参加したり、また、寺町部会の皆さんに講師をしてもらえば、もっと飯山の町・寺町に関心を持ってもらえるのではないかと思うが。
- (委員) 関連して、各小学校それぞれ校区のポイントとなる場所に子どもたちを連れて行っていると思うが、飯山の中心的なところへ学習を広めていくにはどうしたらいいか。先生方が寺町等を学ぶ機会が少ないと思う。
- (会長) その辺の広がりが出てきたら、子どもたちも町の中やその歴史に関心を持ってもらえるのではないか。「寺巡り」で寺を歩いていても、ただ歩いてるだけでは寂しい。「寺町案内人」の活用も良いのでは。
- (会長) 他には。
- (委員) 集落サロンの来館は今まで余りなかったのではないか。来るときの足は。
- (事務局) ここ数年増加傾向である。他の施設めぐりと併せて市のバスで来ることが多い。
- (委員) 字町ごとのサロンもメニューに苦労している面もあるので、いい機会だと思う。
- (事務局) 高齢者の方に館内の古い道具などを見てもらうと脳の活性化にもつながり効果的だというデータも出ている。先日、「世話人会」が市役所であったので初めて出席しPRした。
- (委員) その成果が既にみられてきたということである。
- (委員) 学校の入館者数の市内608人、市外633人は昨年と比べてどうか。
- (事務局) 市内は昨年並み、市外は去年より少し多い。
- (委員) 市外の人数は多いが学校数とすると多くないようだ。長野方面からの来校が減っている。
- (事務局) 確かに減っている。
- (委員) 武蔵野市からはいつも来るのか。
- (事務局) 武蔵野市は、以前から市間の交流が行われているということで、毎年来てもらっている。また、市外の近隣小学校へ利用案内パンフレットの送付を始めた。
- (委員) ふるさと館の無料入館者の多くは小中学生か。
- (事務局) 小中生がかなりを占めるが、友の会会員などもいる。

## (2) 平成28年度事業報告について

(事務局) 資料に基づき説明(P8～9)

(委員) ふるさと学習推進のひとつである学校へ出張講座について、6年生社会科の縄文土器の単元の際、土器持参の出張講座があったと思うが、報

告では少ない。学校側が知らなかったと思うので、先生に「ふるさと館でこういう出張講座ができる」ということを示すのもいいかと思う。

(事務局) 先日の校長会において資料を配布し案内をしたが、さらにPRを進めていきたい。

(会長) 「機織り体験」では、座ってやるタイプの「いざりばた」を子供たちと一緒にやってみるのも面白いのでは。大変だろうが。

(事務局) 検討してみる。

(委員) 教職員初任研、5年研、10年研は今もあるのか。あれば、ふるさと館へ来て、1時間なり2時間なり勉強するのも良いのでは。

(事務局) 昨年の初任研は、栄村も入れて2人。

(委員) 5年研、10年研も同じか。

(委員) 5年研は、センターへ行くだけで校外研修はない。10年研になると他業種研修として外で研修を行う。場所については「福祉施設に行きたい」など本人の希望もあるが、文化施設も選択肢に入る。

(事務局) 今年も木島小の先生から相談を受けている。

(委員) 受け入れを行っていることを、対象の先生に通知してもいいのでは。

(事務局) 検討してみる。

(委員) 文化財の保存・管理はこの館（ふるさと館）で行っているのか。

(事務局) 2階の収蔵庫に保管している。

(委員) 各集落等で管理しきれない道具などもあるか。

(事務局) 昔の道具類は、館以外に旧三中でも保管している。

(委員) 市・県・国の指定文化財で、ここ（ふるさと館）の収蔵庫に入っているものもあるか。

(事務局) ある。例えば、五束神社の鰐口や古面などが委託され、収蔵・管理している。

(委員) そういう文化財を、子どもたちの来館時などに併せ、1か月展示するというようなことも行っているか。

(事務局) 企画展に併せて、テーマに沿ったものを展示するというのは、行っているが「所蔵文化財展」「指定文化財展」というものは、過去には行っていない。

(委員) たまに見てもらうことが、子供たちにも良いのでは。

(事務局) 文化財の活用という面でも大切なこと。去年、小菅の秘仏といわれる「馬頭観音像」を県宝指定に併せて展示し、今年も美術館で「白隠展」を開催するので、ここで預かっている掛け軸なども併せて展示することを考えている。さらに紹介していきたい。

(委員) 回数を増やせば良い勉強の機会になると思う。古文書類は難しいと思うが、

本物の文化財を見たことがない市民も多いと思う。

(会長) 「ひな人形展」は毎年同じような感じだが、もう少し発展形にはならないか。

(事務局) 事務局でもどんなふうにしていったら良いか検討中である。

(委員) 小諸は、街歩きの工夫をしている。

(委員) あまり数でおどかすのもどうかと。

(委員) 五月人形などは。

(委員) もう発想を変えて人形はやめたら。

(委員) ここで預かってる文化財を紹介するのはどうか。

(事務局) 「ひな人形展」は、毎年少しずつ見せ方を工夫しながらやっている。そろそろ止めるかという話もあったが、実際展示すれば、ひな人形を寄贈した皆さんや保育園の子どもたち等が大勢来てくれて好評である。

(委員) 最近は各家庭でひな人形を飾っていないということもあるのか。

(事務局) そういうお客さんも多い。

(委員) 鯉のぼりも最近は揚げない家も多いからしょうがない。単純にやめれば良いというものでもないか。だが、飽きられないように次期候補くらいは挙げておかないと。

(事務局) 検討してみる。

(委員) 市全体の問題だが、飯山駅前に看板などの表示設備が全く無い。駐車場の大きい表示や周辺全体の表示はあるが。駅舎とツルヤの間の道を上手く遊歩道に繋がられないか。歩道のあるその道を利用し、『なちゅら』や『ふるさと館』へも行かれます」というふうに。徒歩何分というのも入れて。また、駅前に「人形館」も含めた各施設への表示が本当に無い。(飯山市を) 売っていくという攻めの姿勢でいくには考えないと。

(事務局) まちづくり課などもまた詰めていければと思う。駅のレンタサイクルのところにも表示があればいい。

(委員) 回遊性のあるまちづくりということで。

(委員) 人物展は今回3回目とのことだが、以前行われた人物展は何か。

(事務局) 佐久間雲窓展と宮崎市定展。

#### 4 その他

(事務局) 特になし

#### 5 閉会

(課長) それでは、これで第1回運営協議会を閉会します。